

産学官金が連携し、地域を巻き込んだ酒造会社の新商品販路開拓支援

事業者	支援・協力機関		
石塚酒造 株式会社	柏崎信用金庫	高柳町商工会	新潟工科大学

企業の概要

新潟県の高柳町にある「姫の井」ブランドで知られる石塚酒造。もち米4段仕込みの製法を貫き、地元を中心に定着したファンを持つ。前社長の急逝で経営にノータッチだった妻が引き継ぎ、売上回復に挑む。売上高4000万円。従業員2名。

支援の概要

◆ 支援の経緯

柏崎信金の山田氏は、個性的な日本酒であるがゆえに認知を高めることで需要が拡大すると分析し、「日本酒と大学生のコラボレーション」という企画を提案。高柳町商工会、新潟工科大学も加わり、地域を上げての日本酒開発というテーマに取り組む。

◆ 経営課題へのアプローチ

① 日本酒と大学生のコラボレーション企画の提案（信用金庫・工科大学）

若い客層をターゲットに入門編のような日本酒を考案し、地元大学生との協創による商品開発活動を立ち上げる。大学のカリキュラムの一環としたラベルデザインづくりが実現する。

② 町民参加のラベルデザインコンテストを実施（商工会・工科大学）

高柳町の冬のイベント「高柳雪まつり『YOU・悠・遊』」の会場で、町民の投票も加えてコンペ形式でラベルデザインを決定。特設で大学生による販売支援もあり、町民が応援する新商品として一気に認知が広がる。

③ 信用金庫による販路開拓支援（信用金庫）

支援機関・事業者のチーム検討を繰り返し、首都圏百貨店ルートへの販売を軸に対策を練る。信金主催の商談会、百貨店通信販売での採用等の効果があり、販売先が拡大する。

◆ 支援成果

- ① 新商品販売を契機に、前期比で一割増の全社売上を実現
- ② 商品を常設する首都圏販売ルートの確保
- ③ 持続化補助金の採択で、直販展示施設の開設



注目ポイント

◆ 地域の支援機関や大学生・町民の巻き込み

柏崎信金山田氏の発案で、地域の支援機関や大学生・町民を巻き込み、参画した全員が応援し、効果を共有できる活動を展開した。

◆ 田舎だからこそ【地域資源】へのこだわり

祭り、棚田、茅葺家屋など、マーケティング企画の際に徹底的に地域資源を棚卸し、ストーリー溢れる販売促進策が多数提案された。